

# 24年の報酬改定の方向性解説 住まい×介護×医療展2022 シンポジウム開催レポート

## 住まい×介護×医療展 2022 in 東京

【最新商品・サービス展】【経営・運営セミナー】

「一介護事業経営を“強くする”展示会」

※出典：高齢者住宅より

### <コロナ収束見え財政再建に軸足>

2024年の介護報酬改定に向けた国の議論が本格化しています。一般社団法人全国介護事業者連盟 斉藤正行理事長によると、24年改定はマイナス、それも15年並みの大幅マイナス改定もあると予測される。

21年改定が行われた当時は、新型コロナウイルスの感染状況の先行きが全く見通せない状況であり、国もコロナ対策に資金をつぎ込んだ。

しかし、24年改定時には、コロナは既に収束ないし収束がかなり見えてきている状況になっていると思われる。その中で国が「財政の立て直し」に動くことは自然な流れと考えられます。40年に向けて、介護については、

①人材の「常勤・専従」主義の見直し  
②健康寿命の延伸、③DX推進、の3つが施策の大きな柱になると思われる。介護事業者には、マイナス改定の可能性を踏まえながら、それに向けた準備を進めていくことが求められる。

21年改定では①感染症・災害への対策の強化、②地域包括ケアシステムの推進、③自立支援・重度化予防の推進、④介護人材の確保・介護現場の革新、⑤制度の安定性・持続可能性の確保、が大きな方向性として示された。

この中で一番重要なのは③で、そのために国は科学的介護の実践の必要性を打ち出し、LIFEの活用を推奨してきた。国の方向性にしっかりと添っている介護事業所をきちんと評価しようと、24年はLIFEを活用していない事業所の報酬が大幅に引き下げられる可能性がある。

介護業界においても「DX化」は必要不可欠になるのである。

### ～介護ビジネス研究会のご案内～

医療・介護・障がい福祉の経営者(幹部)のための隔月勉強会です。特別セミナーと勉強会(座学セミナーによる業界最新事例の+事例交換会)を基本とする経営塾です。経営者様が抱える問題・疑問及び、他社はどのようにして解決しているのかを共有する等、有益な情報をご提供して参ります。開催が近づきましたらDMでお知らせいたします。是非ご参加ください。

介護ビジネス研究会



## 岐阜県福祉のまちづくり推進協議会

担当: 苅谷

事務局: 株式会社野田建設

〒501-3246 関市緑ヶ丘2-5-78

TEL: 0120-337-301

FAX: 0575-24-5733

<http://www.koreisyajutaku.jp>

[mail:kariya@nodakensetsu.co.jp](mailto:kariya@nodakensetsu.co.jp)

お問合せは  
コチラまで

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて0575-24-5733迄ご返信をお願い致します。

案内  
不要